



大阪市立 矢田東小学校

所在地 〒546-0022 東住吉区住道矢田2-7-43

電話番号 06-6702-9877

HPアドレス <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741700>

校長名 梶原 進

標準服 無

集团登校 無



学校概要

○教育目標：豊かな心を持ち、主体的に生き抜く子どもを育てる。

○めざす子ども像：なかよく助け合う子・すすんで取り組む子・つよい体にきたえる子

○校長先生のメッセージ：矢田東小学校は東住吉区の南に位置します。大和川がすぐそばを流れ、田園風景のみられる自然豊かな環境に恵まれた地域です。2年前に、創立50周年という記念の年を迎えました。子どもたちは、広い運動場に加え、ジャングルジム・鉄棒がある芝生の広がる緑豊かな中庭で、元気いっぱい遊んで運動して、楽しく過ごしています。学校・家庭・地域で、学校教育目標の実現に全力で取り組んでいます。

運営に関する計画

①安全・安心な教育の推進

- いじめの認知・解消件数等を共通理解し、組織的な対応を行う。
- ルールを守ろうとする態度を育成する。
- 家庭との連携を密に行う。
- 道徳教育の充実を図る。
- 体験的な学習や体験活動の充実を図る。

②未来を切り拓く学力・体力の向上

- 基礎基本の定着を図り主体的な学びを育む。
- 授業改善の推進を行う。
- 「矢田東漢字・計算クライミング」などで基礎学力の定着を図る。
- 国語・算数において、習熟度別少人数授業やチームティーチングを使った個に応じた指導を行う。
- 英語教育の推進を図る。
- 学級文庫の整備や学校図書館補助員との連携を図る。
- 運動ができる場の設定や施設設備の有効活用を図る。
- 2時間目の休み時間などを活用した業間体育を実施し体力づくりを図る。

③学びを支える教育環境の充実

- ICT機器の効果的な活用を図り、毎日の授業改善を実践する。
- 教育活動全体の検証・改善によって教育の質を向上させる。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	34	38	36	55	46	39	248
学級数	1	2	1	2	2	1	9
特別支援学級							3

学力調査結果

	国語	算数
平均正答率 (%)	50	47

「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均から比べれば他領域に比べ差が少ない結果となった。図書活動の充実や矢田東漢字検定の取り組みの成果であると考えられる。だが、全体として国語や算数を得意としている児童が少なく、今後も継続して習熟度別少人数学習やチャレンジ問題に取り組むなどの学力の引き上げに取り組んでいく。特に国語では「読んで理解する」ことを苦手としている児童が多く、習熟度別の活動や個に対する指導の工夫が必要である。また「書くこと」については、低学年からの系統立てた指導や「書く」技能の習得を確実にしていくことが大切である。算数科では基本的な「数と計算」を苦手とする児童が多く、この設問では計算間違いなどが比較的多くみられる。読解力や計算力の向上のため、低学年からの基礎基本の学習の更なる定着が今後の課題となり、そのための取り組みを充実させていきたい。また、学校での学習だけではなく、子どもたちの生活習慣も学力にかかわっているので、家庭・保護者とも連携して取り組んでいきたい。

※全国・大阪市の平均についてはP10を参照

体力・運動調査結果

種目別平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子		15.88	18.12	30.53	38.41	38.53	10.01	152.29	17.06	48.82
女子		17.14	18.91	37.09	38.55	36.62	9.53	144.82	14.86	55.60

これまで新型コロナウイルス感染症が拡大し、学校生活に影響を及ぼすまでは、教科体育での指導力向上を目指したり、子どもたちへの取り組みとして業間体育（なわとび運動・かけ足・ドッジボール）を行ったりしてきた。しかし、昨年度からの感染症対策や、臨時の学校休業などで、子どもたちの運動制限がかなり多かった。この運動制限については、スポーツテストにおいては影響は少なく見えるが、体育の授業の子どもたちの運動量、実態は相当に落ち込んでいる。今年度は、ソフトボール投げに重点を置いて取り組んだが、これについては個人技能の指導育成になることから、授業の取り組みも行きやすく、学期末に行った際の記録は伸びた。しかしながら、全体的な子どもの体力については、授業でのかなりの制限がかけられる限りは、今後も子どもたちの体力・運動能力の低下傾向は収まらないと思われる。コロナ禍における運動量の確保、体育科の授業の工夫をさらにしていくことが喫緊の課題であるといえる。来年度以降は、スポーツテストの種目を縛りこんでの取り組みも大事ではあるが、子どもたちの全体的な体力の向上も考えていかなければならない。

※全国・大阪市の平均についてはP10を参照

基礎学力の定着を図る

毎週火・水・金に矢田東タイムを設定し、朝学習や英語学習を行ったり、補充学習の時間を設定したりして、子どもの学力向上に努めています。また、朝の読書活動や図書委員会の児童による本の読み聞かせ、図書館開放などを行い、自然と本に親しむ環境を整え、「読書ノート」を活用し、年目標50冊・100冊を目指して意欲的に読書に取り組むようになっています。



なかよく助け合う集団育成

年間を通して、異学年集団（1年生～6年生）による「なかよし班」を編成し、計画的に活動しています。活動内容は、集会活動・東小フェスティバル・運動会などです。これらの活動を通して、なかよく助け合う子どもを育成し、相手の気持ちを受け止め、進んで友だちと関わられるようになっています。



つよい体にきたえる

矢田東小学校には運動場の他に中庭もあります。2時間目と3時間目の休憩時間を利用して、「業間体育」「かけ足週間」「なわとび週間」を設定し、年間を通して体力の向上に努めています。過去には大阪市の陸上大会に参加し、自分の記録を確かめる場も設定しています。



家庭・地域との連携

- 「昔遊び体験」「商店街調べ」「校区めぐり」などの体験活動
- 「PTA子どもまつり」や「地域夏祭り」ではPTA・地域が協力し、出店
- 「矢田東子ども安全見守り隊」の方々やPTAによる毎日の登下校の見守り活動
- 近隣校区における幼保小連携・小中連携・小中連携・支援学校との連携
- 放課後や土日に開催されるスポーツクラブとの連携



矢田東小学校 出前授業

矢田東小学校では、本物と出会うことで未来に希望を持ち、学び続ける子ども達を育てています。多種多様な業界の第一線で活躍している方を積極的にお招きして授業を行っています。過去には、食品企業・プロサッカーチーム・プロ野球チーム・オリンピック日本代表出場選手・テレビ局・携帯通信会社・水道局・環境局・図書館などたくさんの企業、行政等と連携して授業を行いました。

